



(撮影：赤間茂幸委員)

▶ みんな仲間だ やってみよう!! ◀
(大郷幼稚園 運動会)

みんなの
議
会

おおさと

NO. 188
2017 平成29年11月1日

- 4 特集／平成28年度決算
各種会計を「徹底検証」
- 8 町当局に意見提言
- 11 臨時会 (第2～第4回)
- 13 町政を問う「一般質問に11名が登壇」
- 27 委員会活動レポート
- 31 追跡レポート その後どうなった…

9月 定例議会

平成29年第3回定例議会は、9月7日から22日までの会期日程で開催されました。平成28年度の一般会計・7特別会計・水道事業会計の各会計決算を決算審査特別委員会において慎重審議を経て、全会計を認定しました。

また条例の一部改正2件、平成29年度各種会計の補正予算9件、工事請負契約の締結2件、委発による意見書1件を原案どおり可決しました。

さらに固定資産評価審査委員会委員、農業委員会委員の人事案件に同意しました。

文化会館外壁等改修工事・

成田橋修繕工事の契約が締結

【一般議案】

文化会館外壁等改修工事

問 工期中も利用は可能となるが、安全上の管理は。

答 地域整備課長 作業の場合は、誘導員等を配置して、利用者の安全を確保していく。

問 前回の入札が不調だった理由は。

答 企画財政課長 予定価格に至らなかったため。

問 工事内容の見直しはあったのか。

答 地域整備課長 発注内容は前回と同様。

成田橋(大松沢)修繕工事

問 これまでも冬期においての工期延長が見られたが。

答 地域整備課長 契約工期内での履行ということを確認している。

問 通行利用について、住民の利用に支障はないのか。

答 地域整備課長 通行規制は、原則片側交互通行により作業実施。作業していない場合は全面通行と考えている。

個人情報保護条例の一部改正

問 マイナンバーカードの登録状況は。

答 町民課長 約400人登録している。

問 今回、新たに開示を受けたものへの罰則規定が設けられた経緯は。

答 総務課長 上位法で規定することと定められていたが、今回検察庁との協議が整ったことによる改正。

問 罰則規定がなかった時点で問題はなかったか。

答 総務課長 問題はなかった。

廃棄物処理などに関する条例の一部改正

問 ごみ処理場の24時間稼働による経費増は。

答 町民課長 28年度から30%増(1億円)と見込む。

問 その中に維持補修費が含まれているのか。

答 町民課長 その分は含まれない。

問 ごみ処理手数料1000キ口を超えた分10キ口単位で設定した理由は。

答 町民課長 事業者等のある程度の負担軽減を見て10キ口単位にした。

直接搬入するごみの手数料の改定

	現 行	改 正 後
100キ口まで	1,000円	1,500円
超過分	500円 (50キ口又は端数ごと)	150円 (10キ口又は端数ごと)



▲改修が待たれる町の顔（文化会館）

人事案件

固定資産評価審査委員会委員
任期満了に伴い、選任することに
同意。

伊藤 榮吉氏（不来内）
赤間 正氏（中粕川）

農業委員会委員
法改正により、公選制から議会の
同意を得て町長が任命することにな
った。11人の委員の任命に同意。

蜂屋 静夫氏（羽生）
石川 安彦氏（山崎）
千葉 早苗氏（味明）
相澤 浄氏（中村）
森合 芳信氏（土橋）
赤間 輝行氏（長崎）
児玉 守夫氏（石原）
渡邊 信雄氏（木ノ崎）
加藤 幸子氏（上町）
佐々木洋悦氏（吉ヶ沢）
佐藤千加雄氏（貝柄塚）

歳出決算の前年度対比

会 計 別	平成28年度決算	平成27年度決算	比較増減	増 減 率	
一 般 会 計	48億7,458万円	49億4,486万円	▲ 7,028万円	▲ 1.42%	
特 別 会 計	国民健康保険	9億6,470万円	10億4,259万円	▲ 7,789万円	▲ 7.47%
	介護保険	9億5,120万円	9億4,815万円	305万円	0.32%
	後期高齢者医療	6,899万円	6,913万円	▲ 14万円	▲ 0.20%
	下水道事業	2億1,555万円	2億2,249万円	▲ 694万円	▲ 3.12%
	農業集落排水事業	4,991万円	4,579万円	412万円	9.00%
	戸別合併処理浄化槽	5,782万円	5,165万円	617万円	11.95%
	宅地分譲事業	8,280万円	0万円	8,280万円	—
水 道	収益的支出	2億1,632万円	2億0,982万円	650万円	3.10%
	資本的支出	7,143万円	9,183万円	▲ 2,040万円	▲ 22.21%
合 計	75億5,330万円	76億2,631万円	▲ 7,301万円	▲ 0.96%	

※1万円未満は四捨五入

検証

特別委員会を設置（委員長：佐藤千加雄委員）
を行い、慎重審議・検証しました。
行い、一般会計及び各種会計を認定しました。

決算審査特別委員会



佐藤委員長



赤間副委員長



▲安心・安全なまちづくりを

主な使いみち

- ごみ焼却処理(黒川行政) 1億5,997万円
- ごみ収集業務 1,762万円
- 住民バス管理費 5,036万円
- 防犯施設整備 271万円
- すこやか子育て医療費助成 3,327万円

生活・環境

空き家バンク活用の推進を

問 空き家バンクの利用状況と課題は。

答 空き家の登録が7件、借りたい方25件うち4件貸借契約成立。課題としては空き家が足りない、リフォーム費用、立地条件が悪いことなどがある。

問 青色申告を広めるため、記帳の関係等の講習、説明会を実施すべきでは。

答 青色申告には数々の特典がある。国・県と協

力しその方向で進めていきたい。

問 防犯カメラを増設する考えは。

答 町長 来年度の予算編成に生かしたい。

総務・財政

主な使いみち

- 議会活動費 9,524万円
- 黒川地域行政事務組合(消防) 1億4,677万円
- 地域消防団活動費 2,499万円
- 住民情報システム関連 4,847万円
- ふるさと応援寄付金返礼 1,218万円

ふるさと応援寄付金返礼品は？

問 ふるさと応援寄付金の返礼品で、希望が多かったものは。

答 米56%、地ビール18%、仙台牛16%となっている。本町の特産品をアピールしていく。

問 青少年国際交流参加者の状況は。

答 中学生2名がサイパン島に体験ホームステイした。

問 町道未登記地の状況は。

答 74件ある。相続関係で難しい面があるがなるべく早く解決したい。

問 現在、非常食の在庫は何食分くらいあるのか。

答 5ヶ所で2900食の備蓄がある。約3日分を想定している。



▲特産品のさらなるPRを

徹底

■答弁者

- | | |
|-------|----------|
| 総務課 | まちづくり推進課 |
| 企画財政課 | 税務課 |
| 農政商工課 | 保健福祉課 |

平成28年度の決算を詳細に審査するため、延べ5日間にわたり各課ごとに質疑応答本会議では、委員会審査報告の後、採決を



▲常のモログッズの販売戦略を

主な使いみち

- 緑の郷施設管理費 1,746万円
- 農業振興・畜産費 1億 888万円
- 多面的機能活動交付金 5,228万円
- 開発センター管理費 435万円
- 郷郷ランド公園増設整備 1,414万円

農政・商工

産業のさらなる振興を

問 転作政策廃止への対策は。

答 農 国の行動を注視しながら対策を講じていく。

問 松くい虫伐倒事業を個人でやるのは大変難しい。山の所有者に対して、ある程度の補助を考えるべきでは。

答 農 全体の被害状況の把握は難しいが、今後検討を重ねて行く。

問 国の補助事業で農業機

械に対する支援事業があるが新品購入時の補助のみか。

答 農 新品購入時の補助で、中古は対象外である。

問 ピンバッチ等を道の駅等で販売する考えは。

答 農 キャラクター戦略の一環として、販売等について検討する。

主な使いみち

- 各種検診委託料 3,961万円
- 保育所費 1億1,810万円
- 黒川病院費 6,334万円
- 県後期高齢者医療広域連合療養給付費等負担金 9,223万円
- 障害者自立支援給付費 1億5,582万円
- 子ども手当 1億2,253万円

保健・福祉

問 特定不妊治療に対する町の補助金の内容は。

答 保 県の補助事業に加え、男女問わず町独自でも補助している。

問 ふれあいの家の延べ利用者数が、1741人と少ない。利用者の利便性を考慮し、出来るところは改善していただきたい。

答 保 指定管理は社会福祉協議会に委託しているが、今後担当と連携を取り改善

ふれあいの家の利用促進を

が必要な部分は、出来るだけ要望に応じていきたい。



▲より良い利用環境を目指して

検証



▲幼稚園の運動会

主な使いみち

○小中学校パソコン賃借料	433万円
○幼小中学校スクールバス運行業務	4,885万円
○奨学金貸付金	1,272万円
○幼稚園管理費	1,097万円
○社会教育施設管理費	3,935万円

教育・文化

スクールバス運行の再考を

問 スクールバス運行範囲拡大の考えは。

答 教 今後、子育て支援の中で考えていきたい。

問 町民体育館のトイレと床が傷んでいるが、どうなっているのか。

答 教 今後早急に対応していく。

問 フラップおおさと21の利用関係で町民が使用するの筋であって今後どのように対応していくのか。

答 教 基本的には健康増進につながるので町民中心にやっていく。

主な使いみち

○町道補修工事費	3,585万円
○町道除融雪業務	1,702万円
○町道新設改良費	1億8,180万円
○橋梁新設改良費	3,952万円
○町営住宅建設費	1億2,230万円

建設・土木

未舗装道整備推進を

問 赤道・生活道路整備の要望等に対しての考えは。

答 地 町民が困っている場所があるのか、ただ生活に困っているからと言ってすべて整備できるわけではない。関係する部署と協議しながら視野に入れていく。

問 生活道路等で未舗装道箇所数と延長は。

答 地 町道等については、26箇所、9・8kmとなる。



▲未舗装道路

徹底

■答弁者

- 地 地域整備課
- 教 教育課
- 保 保健福祉課
- 町 町民課

討 論

一般会計の認定について

反対 大友三男議員
平成28年8月から平成29年1月の32事業の平均落札率が97%とかなり高く、児童館建設工事入札においては、入札参加業者2社あるなか、1社が入札2日前に辞退し、1社だけの入札となり、99・93%で落札されるなど、適正に行われたとは言えず反対する。

反対 高橋重信議員
高崎団地の建設は財政負担が大きく、町財政が圧迫される。現在、自治体での開発行為を行っているところは少なく、条件付き無償譲渡されたとされる土地に、なぜ11億円の開発行為をするのか。賛成することは、到底できないと強く指摘し反対する。

宅地分譲事業特別会計について

反対 大友三男議員
総事業費11億円の高崎団地造成費の中で、国補助金対象の町営住宅建設だけならまだしも、対象外宅地分譲事業の、20区画分の造成費、総額2億円の中で、平成28年度分として8279万1千円を町民の貴重な税金を投入するなど、適正に行われたとは言えず反対する。

不透明な入札執行に疑問

財政負担の大きい高崎団地造成に

補助金対象外宅地分譲事業に

主な使いみち

- 石綿セメント管更新事業 1,958万円
- 下水道管理費 6,074万円
- 農集排事業管理費 1,997万円
- 合併処理浄化槽設置工事 1,248万円

特別会計水道

有資格者の確保を

- 問** 包括支援センターの人員確保について、要望は出しているか。
- 答** 有資格者を確保するようお願いしている。
- 問** 特定検診受診率が上がっている。どんな工夫をしたのか。
- 答** 町 パンフレットや広報等により周知拡大に努めた。
- 問** 水道検針員にユニフォームを貸与しては、今後検討していく。



▲特定検診のさらなる受診率向上を

町当局に16項目の意見を提言

決算審査特別委員会は、5日間にわたる委員会審査の結果、16項目に及ぶ意見を町当局に提言しました。



▲決算委員会時

一般会計

空き家バンクの活用

空き家バンクの有効活用と倒壊危険住宅対策を図りたい。

防犯カメラの設置

防犯カメラの増設で安全なまちづくりに努められたい。

徴収体制の強化

納税意識の向上を図り、さらなる徴収体制強化に努められたい。

包括支援センターとの連携

地域包括支援センターとの連携強化を図られたい。

水質調査の強化

水質調査のさらなる強化を図られたい。

不法投棄監視体制の強化

不法投棄監視体制の工夫と強化を図られたい。

公社の改善指導

㈱おおさと地域振興公社への積極的な改善指導を図られたい。

国際交流拡大を

国際交流事業の拡大を図られたい。

未舗装道路の改良促進

未舗装道路改良の推進を図られたい。

災害防止の強化

開発行為による災害防止策の強化に努められたい。

防火対策の強化

防火水槽の安全対策強化を図られたい。

体育施設利用の再考

社会体育施設の利用形態再考を図られたい。

国民健康保険特別会計

受診率の向上を

受診率向上を図られたい。

下水道事業特別会計

農業集落排水事業特別会計

未収金徴収率の向上を

未収金徴収に努力されたい。

水道事業会計

右綿セメント管の早期更新を

石綿セメント管の早期更新

新で有効率向上に努力されたい。

監査委員の意見(要約)

自主財源確保の努力を

一般会計では歳入総額52億6108万円から歳出総額48億7458万円を差し引いた3億8650万円が収支差引額となった。

そのうち、翌年度への繰越財源は繰越明許費・事故繰越が1億4310万円、実質収支額は2億4340万円計上した。

しかし、29年度は基金繰入金による財政運営となることから、新たな補助金の確保や、自主財源の確保に努力されたい。

主要財政指標では、財政の弾力性を見る経常収支比率は93・7%、実質公債費比率は9・8%、財政力指数は0・42%で総体的にはほぼ例年どおりの数値となったが、今後、扶助費等の増加に伴い財政力が懸念される。

地域支援事業の充実に給付費抑制を

介護保険・後期高齢者医療特別会計では、本町の高齢化に伴う給付の増加は必至であり、地域支援事業等の更なる充実を図り、予防医療事業等による健康寿命の伸長増進で、給付費の抑制に努力されたい。今後も引き続き滞納整理対策に努力されたい。

町単独事業での更新事業であるので、収益の確保、経費の節減、未収金の解消等により、更新事業の早期完了に努力されたい。

町債権管理条例制定を評価

昨年提起した私債権管理条例について、大郷町債権管理条例として制定されたことは評価する。

今後は制定された大郷町債権管理条例により私債権滞納の管理を適正に行うこと。

収入未済額解消と水洗化加入促進を

下水道事業・農業集落排水事業・戸別合併処理浄化槽事業の3特別会計に於ける収入未済額の解消と、水洗化加入促進に取り組んでいただきたい。

高崎団地の早期完成を

宅地分譲事業特別会計は、定住促進を進めるために早期完成に取り組んでいただきたい。

石渡セメント管更新事業早期完了を

水道事業は、単年度黒字計上となったが、石綿セメント管更新事業については、

また、町道の未登記物件の整理が昨年に引き続き行われ、12筆登記され、全体146筆の内72筆の登記が完了し進捗率49・3%となった。今後も引き続き努力をされたい。

事務の執行は、文書取扱規程・財務規則等に基づき行うのが基本であるが、今後の事務執行に当たっては規定・規則を遵守し適正な事務処理を行うこと。

財政健全化指標

町財政を健康診断

報告

自治体の財政危機を未然に防ぐために、「健全化指標」の公表が義務付けられています。財政状況は4つの指標を使って判断しますが、1つでも基準値を超えると財政悪化を示します。

区分	黄色信号(注意)		赤色信号(財政破綻)		大郷町 (平成28年度)	判断
	基準値	早期健全化団体	基準値	財政再生団体		
1. 実質赤字比率 (一般会計に占める赤字の割合)	15.0%	4指標のうち1つでも基準値を超えれば、「早期健全化団体」となり、自治体は自主的に財政を改善しなければなりません。	20%	3指標のうち1つでも基準値を超えれば、国の管理下で財政再生を進める「財政再生団体」となります。	赤字なし	正常
2. 連結実質赤字比率 (公営企業などを含む全会計に占める赤字の割合)	20.0%		30%		赤字なし	正常
3. 実質公債費比率 (自治体の収入に対する借入金返済額の割合)	25.0%		35%		9.80% (前年度比0.1%増)	正常
4. 将来負担比率 (将来にわたる実質的負債「借金」の割合)	350%				8.50% (前年度比0.6%減)	正常

生活環境基盤の整備を推進

第3回定例会において、一般会計、7つの特別会計及び水道事業会計の平成29年度補正予算が提案され、原案どおり可決しました。

一般会計

一般会計は1億7289万1千円を追加し、歳入歳出それぞれ45億2845万円となりました。主なものは、除融雪業務、町道の側溝整備並びに舗装工事、高崎団地造成工事、郷郷ランド遊具設置工事などです。

主な質疑

問 3月定例会で「赤道並びに土側溝の整備に関する請願」が提出されて採択した。請願者への連絡、取り扱い状況は。

答 企画財政課長 来年度の当初予算に計上するか検討を進めている。該当の区長に連絡していなかったことは反省し、今後適切に対応する。

問 スクールバス停の除融雪場所は何力所で基準は。

答 教育課長 バス停40数ヶ所であり、降雪の状態により、危険な箇所を除雪、概ね30箇所。今後とも降雪の状況に合わせて、子供たちの安全安心のために実施

していく。

問 旧粕川小学校の改修工事がいつ終了し、放課後テイスービス事業が文化会館より移動できる時期は。

答 保健福祉課長 年内に工事が終了し、年明け早々には移動できる。

問 郷郷ランドの遊具の内容とベンチ設置の考えは。

答 農政商工課長 児童館に設置したタイプの総合遊具1基とブランコ1基、ベンチは3基設置する。

問 一般競争入札の金額が今年より5000万円に要綱変更されたが。

答 地域整備課長 町内の業者でも対応できる発注形態と考えている。

国民健康保険特別会計

問 基金残高はいくらになるのか、またその運用は。

答 町民課長 年度末で2億6443万円になる見込みである。30年からの県単位化移行に際し、税率の激変緩和措置の財源とする。

宅地分譲事業特別会計

問 今回の補正額決定での進捗率、次のステップは。

答 まちづくり推進課長 造成工事は完了。

答 町長 分譲地は早期に完売するよう進め、価格は適正にしていく。

中村地区に小規模保育施設

平成29年第2回臨時議会が7月28日に開催され、走行中車両の損傷に伴う和解及び損害賠償額の決定について、民間小規模保育施設設置経費にかかる一般会計補正予算等を審議し、原案どおり可決しました。

一般会計補正予算

一般会計は、8166万3千円を追加し歳入歳出それぞれ43億5556万3千円となりました。主なものは、民間による0〜2歳児を対象とした定員19人以下の保育施設設置等の補正予算。(小規模保育施設建築の県の補助率は2/3、町は1/12、民間事業者)

主な質疑

問 突然の案件で計画性が無いのでは。

答 町長 子供たちの推移、利用状況をみながら、定住化を進める中での将来を見据えた事業である。

問 民間からの申請とのことだが、保護者の声、設置地区の同意、駐車場の確保、

子供たちの安全を確保できるのか。

答 保健福祉課長 地区への説明会を実施し、その中で具体的事業内容も確認しながら進めるよう事業者へ指導していく。

問 子ども子育て支援事業計画にないが何故急ぐのか。

答 町長 「すくすく夢の郷」保育園はすし詰め状態である。0歳児から2歳児までの親御さんから見れば待機児童問題は喫緊の課題、早急に対処が必要である。

問 隣の自治体では待機児童が解決されないため、若いお母さん方の不満が多いと聞いている。タイムリーと考えるが、至急、子育て会議で話題とすべきでは。

答 保健福祉課長 9月の議会終了後、今回の件も含めて対応していく。

討論

議案第35号

反対 千葉勇治議員

29年度当初に待機児童が予想されたにもかかわらず、庁舎内部における話し合いが不十分であり、また民間からの提案で、町民、議会への説明がなく、もっと町が主体性をもった事業の取組みを願う反対する。

賛成 若生 寛議員

現在の保育所は過密状態だ。利用者も増加傾向にあると考え、今回の施設は必要と思ひ賛成する。

平成29年第2回(7月)臨時会 議案採決結果一覧表

議案番号	議案名(略称)	議決月日	採決結果	賛成	反対	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	石川壽和	若生 寛	赤間 滋	和賀直義	高橋重信	高橋 壽一	石川 秀雄	千葉 勇治	吉田 茂美	石川 良彦	
議案第34号	和解及び損害賠償の額の決定について	27日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	平成29年度大郷町一般会計補正予算(第2号)	27日	可	9	3	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○

可: 可決 否: 否決 ○: 賛成 ●: 反対 退: 退席 欠: 欠席

※可否同数でない限り、議長は採決に加わらない。

第4回臨時会 10/20

教育行政の体制固まる

教育長人事に同意

同意

教育委員会教育長の任命
について
鹿野 毅氏（味明）



第3回臨時会 10/11

副町長・教育長人事等を提案

同意

不同意

【同意第16号】
監査委員の選任について
栗石 颯氏（味明）

【同意第15号】
副町長の選任について

【同意第18号】
教育委員会委員の任命に
ついて
高橋 幸也氏（中村）

【同意第17号】
教育委員会教育長の任命
について

平成29年第3回(10月)臨時会 議案採決結果一覧表

議案番号	議案名 (略称)	議決月日	採決結果	賛成	反対	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	熱海文義	石川壽和	若生 寛	赤間 滋	和賀直義	高橋重信	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦	
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて	11日	承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意第15号	副町長の選任につき同意を求めることについて	11日	不同意	5	8															-
同意第16号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	11日	同意	10	3															-
同意第17号	大郷町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	11日	不同意	6	7															-
同意第18号	大郷町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	11日	同意	12	1															-

平成29年第4回(10月)臨時会 議案採決結果一覧表

同意第19号	大郷町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	20日	同意	10	3															-
--------	-------------------------------	-----	----	----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席 ※可否同数でない限り、議長（石川良彦）は採決に加わらない。

町政を問う!!

質問者(登壇順)		ページ	質問事項(通告順)
高橋重信		14	1.前執行者が取り組んでいた事業の今後の見直しについて 2.(株)おおさと地域振興公社の健全経営について 3.職員の資質向上について
	千葉勇治	15	1.公約で示した重点政策の確認と今後の取り組み計画について 2.これからの(株)おおさと地域振興公社運営について 3.どうする本町の農業について
赤間滋		16	1.選挙公約実現に向けた具体的な取り組み決意について
	赤間茂幸	17	1.安全・安心なまちづくりについて
熱海文義		18	1.(株)おおさと地域振興公社の指定管理について 2.住民バスについて 3.おおさと夏まつりについて
	佐藤千加雄	19	1.道路網の整備について 2.市街地整備について 3.大郷小学校6年生の児童から出された「町づくり提言書」について
和賀直義		20	1.子育て支援の充実について 2.若い世代の定住化対策について 3.発展的な高齢化対策について
	若生寛	21	1.選挙公約で掲げた重点政策について
高橋壽一		22	1.副町長・教育長の辞任について
	石川壽和	23	1.ふるさと納税について 2.田中町長の選挙スローガンについて
大友三男		24	1.町長の公務に対する認識について 2.今後の公共事業入札について 3.平成30年度からの住民バス指定管理者選考について

※一般質問の内容は、質問・答弁を広報広聴常任委員会で要約したものを掲載しています。



▲高崎団地の早期完売を



高橋 重信議員

山中・希望の丘線等事業の見直しは

再度検討すべきと考える(町長)

問 山中・希望の丘線の町道建設に多くの町民が反対しており、特に希望の丘団地の人達は交通事故を危惧しており、現在も撤回を求めている。この事業に対する所見を伺う。

答 町長 今般の選挙において、多くの皆さんから反対意見をいただき費用を他事業にあてるべきとの意見もあり、再度検討すべきと考えている。

問 新川内工業用地造成工事を坪10万円、6千坪6億円の仕事はあまりにも高額である。民間活力にて造成工事を行うべきと考えるが所見を伺う。

答 町長 既に地権者に同意をいただいているが、町費を使うこの事業は、必要性を再検証し、決断が必要と考える。

問 高崎団地、条件付き無償譲渡による町営住宅、宅地分譲の開発工事が約11億

円と高額、町の財政負担が大きく、経費のコンパクト化を図るべきと考えるが所見を伺う。

答 町長 事業がここまで進んでいる以上、宅地分譲を早く完売する方向です。また平成30年度からの町営住宅建設は内容等を検討しながら建設に努めていく。

（株）おおさと地域振興公社の健全経営について

問 ファームガーデンの負債が公社に負担をかけているが、今後どのように対応していくのか所見を伺う。

答 町長 全体的には赤字であるが、依然として厳しい経営状況にある。今後は更に経営状況を検証し、早期に経営環境の改善を図られるよう対策を考えていく。

職員の資質向上について

問 町民から職員に対する

批判が多い。適材適所への配置を図り、町民の信頼確保に努めるべきと考えるが所見を伺う。

答 町長 基本的に役場職員は地方公務員採用試験に合格し、高い知識を持ち町民の福祉向上を担うため、職務についている優秀な職員と理解している。具体的に「どこの課で」「何が問題なのか」を特定しなければならぬ。私は町民の声を第一に考え4期目に就きました。職員としての心構えを改めて指示します。皆様から具体的な問題を提示していただき、改善していく。



千葉 勇治議員

選挙公約の財政健全化について

団地造成は田中流で(町長)

問 選挙公約の最重要政策の「財政健全化策」で、6億円もかかる「工業団地造成」の必要性の再検証や、2・8億円かかる「山中・希望の丘線道路計画」の見直しを掲げているが、改めて田中町長の考えを伺う。

答 町長 「工業団地造成工事」は、田中流の手法により公費に頼らず進める。また、計画予定地は大変好条件な場所なので、工業用地だけでなく、あの場所にふさわしい企業誘致を進めていきたい。「山中・希望の丘線」については、これ以上進めるといふ考えはない。はつきり中止にする。

基金財源を守り、公約実現を

問 公約の「町財政の健全化」を図るには、当然現在

の基金には手をつけずに、公約実現するものと認識しているのか。

答 町長 そこが経営者のやりくりする能力だというふうに私は理解している。

介護保険料軽減策は

問 県内一高い介護保険料をどの程度軽減する考えか。

答 町長 来年度から介護保険料が改正されるが、せめて県内平均よりも下げるといふ姿勢で公約実現に取り組んでいきたい。

地域振興公社の経営改善について

多額の未払い金の取り扱いは

問 ファームガーデン事業の中止に伴う補助金返納未払い額7500万円が、㈱おおさと地域振興公社の経営を圧迫している。このことに対する町長の見解を伺う。

答 町長 私が公職を去ってから補助金の返還が生じたもので、その責任の全ては事業を中止した当時の赤間町長にある。

田中町長時代のガーデン事業で生じた刑事事件が要因で中止したのは

問 赤間町政がガーデン事業を中止した要因の一つに次の事件が考えられる。田中氏が平成21年9月に公職を去った後の①平成22年10月5日に、国からの交付金



▲新日本テクノカーボン入り口付近の『新川内工業団地』は田中流手法で

を不正に受領したとして「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律違反」で書類送検、23年7月20日に懲役1年2ヶ月、執行猶予3年の裁判結審がなされているが事実か確認したい。

答 町長 事実である。



▲宮城県のアンテナショップ（JR池袋東口徒歩2分）



赤間 滋 議員

公約実現の決意をただす

町民の理解を得て実施（町長）

町長報酬50%カットについて

問 50%カットの意志には変わりないか。

答 町長 議員の理解を得て実施する。

東京都内アンテナショップの開設について

問 東京の何処にどの様に開設し、何を販売するのか、具体的に伺う。

答 町長 JAや商工会、民間事業者と共同し農産物の販売ルート「おおさと食材アンテナショップ」を開設する。専門部署を配置し大郷の食材の豊かさと魅力を全国に発信する。

問 銀座で、30坪の店で、最良の立地だと月450万、それに内装設備投資、毎月の水道光熱費や人件費などがかかる。販売商品は、数百円から数千円の農産物で店の存続は可能か。

答 町長 いろんなやり方

がある。財政力の弱い本町、「コバンザメ商法（便乗商法）」で進出したい。

学校給食完全無料化について

問 学校給食法では、運営経費は設置者（自治体等）、それ以外は保護者負担と明記されている。法律を無視して行えば次年度の地方交付税に影響は出ないのか。

答 企画財政課長 影響はない。

企業誘致活動の展開について

問 国内外優良企業の誘致活動の活性化を謳っているが、土地はどのように確保するのか。

答 町長 企業誘致は土地最優先ではない。積極的な企業誘致で新たな雇用も創出する。

おおさと助け合い

ポイントカードの新設について

問 制度自体が複雑、公平を保ち正確な運用を担保できるのか。

答 町長 先進地を参考にしたい。

介護保険の低額化について

問 低減したことにより、次の3年後の改定時に反動はないか。

答 町長 算定根拠を詳細に検証しながら抑制していきたい。

役場のコンパクトな運営促進について

問 アンテナショップ開設や助け合いポイントカードの新設等により拡大運営になるのではないか。

答 町長 役場組織12部署の壁を無くし町民の方々が来庁しやすい環境にする。



赤間 茂幸議員

安心・安全なまちづくりについて

適時、危険箇所を把握し、事故防止に努める（町長）

交通安全対策について

問 道路網の整備により、町内の通過車両が増加し、特に朝晩の通勤時間帯における交通事故の危険性が高まっている現状で、道路管理者である県・町や大和警察署と連携強化を図り看板設置や速度制限などを見直すべきでは。

答 町長 交通安全連絡協議会を中心に、各種団体の協力を得て、交通事故防止を継続して実施している。大和警察署や県道管理者と連携して適時、危険箇所を把握し、事故防止に努める。

問 山中・希望の丘線が議会で可決して事業を行っている中で、やめるなら地域住民と議会に十分な説明をする義務があると考えるが。

答 町長 説明し理解を求め。

防犯対策について

問 警察署及び防犯協会等と情報を共有するとともに、危険箇所の合同点検をするなど、関係機関との連携強化の下、町民の安全確保と犯罪の未然防止について、どのような対策を講ずるべきと考えているか。

答 町長 防犯協会と消防団を中心に、各種団体の協力を得て、防犯対策を継続して実施している。大和警察署と連携して適時、危険箇所を把握し、事故防止に努める。

問 防犯対策で小中学校の校門や公共施設等に防犯カメラの設置を。

答 総務課長 調査し、来年度実施したい。

消防・防犯対策について

問 実際に大規模災害等に遭遇した場合は、黒川消防署の全面支援を受けることは不可能であり、緊急対応できる態勢づくりが必要とのことから、現在、自主防災組織や婦人防火クラブが

全地区に組織されている。自主防災組織、婦人防火クラブ、消防、防災団体に対する支援強化を図るべきではないか。

答 町長 消防団を中心に各地区自主防災等関係団体の協力を得て、消防・防災対策を継続して実施している。黒川消防署と連携して、予防活動を行い、消防・防災対策に努める。



▲安心・安全な通学路の確保を



▲進入路整備で、集客を（緑の郷）



熱海 文義議員

地域振興公社事業の集客施策は

各種イベントの開催により集客を図る（町長）

地域振興公社の 指定管理について

問 緑の郷に年間約920万円の指定管理料が支払われているが、集客が見込める施策は考えているのか。

答 町長 都市と農村の夕陽が見える丘交流事業を図るための支払いで、営業セーカールス、イベントの開催、メニューの見直し、外国人観光客の誘致などにより集客を図る。

問 緑の郷の進入路は、草がかなり伸びているが誰が環境整備（草刈り）をしているのか。

答 農政商工課長 緑の郷職員が随時草刈りをしている。

答 地域整備課長 年に一度委託し実施している。

問 進入路の幅員を広げる考えは。

答 町長 大型バスが通れるくらいにしたい。

問 開発センターは、年間約410万円指定管理料が支払われているが、今後の施策は。

答 町長 地場産業の振興、都市住民との交流による地域活性化を図る。道の駅全体を活性化するため、西側の畑を地権者から借りるか、買い上げをして駐車場を広げ発展的な営業をしていかなければならない。

住民バスについて

問 住民バスは民間会社に委託しているが、今後は。

答 町長 様々な選択肢の中から最適と思う方法で行っていく。

問 ボートピアとオフトの送迎バスは、地域振興公社を通して一台民間委託しているが、今後は。

答 町長 公社の判断と承知しているが、住民バス同様9月下旬から10月上旬までに結論を出したい。

おおさと夏まつりについて

問 毎年開催している夏まつり、来年以降は。

答 町長 実行委員会や住民の意見を聴きながら、役場、商工会、民間主体で行うかは検討したい。

問 花火大会はもつと企業の寄付を募り黒川郡全体を中心として行ってはどうか。

答 町長 前向きに検討したい。



佐藤千加雄議員

大和松島線の高速化を

広く近隣町村に呼び掛けていく(町長)

道路網の整備について

問 大郷の位置は、東北・三陸自動車道に近く、いろいろな可能性を引き出せる条件にある。主要幹線道路の整備が急務と考えるが。

答 町長 費用対効果を考慮して整備することになる。町の骨格たる幹線道路は、今後検討する必要があると考える。

問 大衡仙台線が30年度完成であるが、大郷經由で利府・仙台への延伸について将来的な所見を。

答 町長 環状線的な役割を持つ道路、質の高い道路網が期待できる、広く働きかけていきたい。

問 大和松島線を、県北高速幹線道路のような地域高規格道路の建設を、県に対

し要望を。

答 町長 高規格道路の諸条件を調査して、広く近隣町村に呼びかけていく。

市街地整備について

問 大郷町の活性化は、市街地形成を図ること。どこを中心市街地としていくのか、思い切った区画整理を。

答 町長 様々な観点から検証し、重点施策の「町民会議」などで意見を聞きながら検討していく。

問 市街地整備として、買い物環境、商業施設が必要では。

答 町長 特徴あるシヨップングセンターなど、近隣にそれなりの物販店があるなか、区画整理等が可能なかどうか検討する必要がある。将来において人口が減少する中、どのような手法があるのか検討していく。

問 官民相互連携し、中心市街地協議会等が必要では。

答 町長 人口減少社会において、地方づくりをどのようにするか、産・学・官一緒に考えていきたい。

小学校6年生から出された「町づくり提言書」の活用を

問 町に提出された「町づくり提言書」、町づくりに活かしていける提言が、いくつかあると考えるが、今後どのように活かして行くのか伺う。

答 町長 町づくりは、行政だけが考えるのではなく、子ども達、住民、企業など



▲目指せ「世界一楽しい図書館」

多くの人たちが主体的に関わっていくことが大切と考える。提言を参考に「活力ある町づくり」を進めていく。

問 提言書にある「世界一楽しい図書館」について。
答 町長 建物ではなく、子ども達が世界一と感じられるものを、子ども達と話し合っていきたい。



▲楽しみな給食のひとつ



和賀 直義議員

教育費負担の軽減を！

給食費完全無料化、運動着等の支援を検討(町長)

問 重点政策の公約について伺う。給食費の完全無料化の狙いと財源をどう確保するのか。

答 町長 保護者の負担軽減と少子化対策、子育て支援が目的だ。財源は財政健全化の推進や子育て支援の全体的な議論を踏まえて検討する。

問 小中学校教育費軽減の具体的内容は。

答 町長 中学生の運動着等の購入への支援も検討する。

問 経済的に苦しい世帯に向けた就学援助制度(要・準要保護生徒援助費補助金)を我が町も実施しているが、国が今年の3月に要綱改正によりランドセル代等の入学前支給が可能となった。制度・システム等の工夫で希望者に実施できないか。

答 教育課長 実施の方向で検討する。

問 既に平成31年度より、幼稚園の3歳児教育を計画している。課題は何か、そして実現への決意を伺う。

答 町長 増築工事の設計業務を発注した。預かり保育も含めた職員体制や教育カリキュラム作成の検討、平成31年度から「3歳児からの幼児教育」実現に向けた努力する。

若い世代の定住化対策

問 租税は公平が原則だ。町内で居住を構えた家族、及び新生児を設けた世帯の「固定資産税の無料化」をあげているが。

答 町長 「若い世代の定住化対策」は喫緊の課題であり、固定資産税相当額を実質無料化にすべく、制度の構築・実施に向け検討する。

問 人口減少が続くなか、中村行政区は人口減少が大きい。学校が近い、交通の便

(道路)、仙台へ通勤しやすい等の利点があると考える。インフラを大胆に整備し、1等地をつくる必要だ。

答 町長 「町民会議」などで、皆さんのご意見等もいただきながら検討する。

高齢化対策について

問 介護保険料は県内どの位置を目指すのか。

答 町長 算定根拠を詳細に検証し、上昇を抑制する方策を探っていきたい。順位を競うわけではない。

問 健康ポイント制度を導入できないか。

答 町長 健康ポイント制度は考えていない。

問 希望の丘団地、住宅に入るのに傾斜が急で入居者の負担になっている。手すり等の設置ができないか。

答 町長 現地を確認し高齢者の負担にならないよう検討する。



若生 寛 議員

公約で掲げた重点政策をただす とにかく全部実施する(町長)

問 決算審査特別委員会において、「継続事業をむやみに中止するのは如何なものかと」と答弁しておきながら、山中・希望の丘線新設を中止すると断言した。しかし、同線を基に周辺を区画整理し中心市街地として町づくりをしては。

答 町長 費用対効果等も考えなければならぬ大きな事業だ。今やるべき事業ではないと決断している。

問 20年位前の放射性廃棄物最終処分場の反対運動が起きるような企業の誘致はしないと断言できるか。

答 町長 類似のものを受け入れない条例の制定もあり、反対運動が起きるような企業の誘致はしない。農村らしい新しい文化を築くことが重要だ。

日本一の道の駅を目指せ

問 東京のアンテナショップ開設よりも、品揃えを充実させて、現在の道の駅を日本一とすべきでは。

答 町長 安定的な大口の仙台で競合するよりは東京の方が大量販路の可能性がある。ものを持ち込む前に市場調査をする。生産者も企業的発想に立ち多種多様にいろんなものを作る必要がある。販売倍増を目指すには駐車場を拡充し、大郷らしい道の駅にする。

介護保険料の軽減は

問 公約の介護保険料の軽減は是非実施すべき。

答 町長 3施設は多すぎる、なおかつ施設の理事長は町外に居住していることも大きな問題だ。財源等も考慮し簡単に下げるとは言えない。

公約の確実な実現を

問 ポイントカード制度の取り組みに際し、刺激的な面白い工夫等も必要ではないか、公約の確実な実現を期待する。

答 町長 財源を伴うので、財政状況等を考慮しながら、優先順位を踏まえとにかく全部実施する。



▲目指せ日本一の道の駅!!



高橋 壽一議員

副町長、教育長の辞任について

権限の及ばないことと理解している(町長)

問 赤間町長の任期満了で町長が交代し、9月6日付で副町長、教育長も辞任した。今後の町政運営、学校教育に対して田中町長の考えを問う。

答 町長 9月7日に赴任したときは、副町長、教育長はいませんでした。私の権限の及ばないところでの出来事と理解している。

問 副町長、教育長は公務員という立場と理解しているか。

答 総務課長 一般職員、それから特別職も含めて地方公務員、したがって公務員です。

問 前の町長選において、副町長、教育長が選挙事務所に出入りしていた。公選法、並びに公務員法に抵触可能性がある、見解は。

答 総務課長 公選法、百三十六条二、公務員等の地位利用による選挙運動の禁止の項目がある。一般的に

は有権者、町民が疑義に思われる行動は慎むべきという国の見解がある。最終的には司法の判断になるという見解です。

問 副町長、教育長の辞表を提出した、月日の説明を願う。

答 総務課長 教育長は9月1日に提出、教育委員会臨時会で同意を得て9月6日辞職、副町長は9月6日をもって辞職したいという届け出があった。

問 教育長代理者をだれが選任したか。

答 教育課長 田中町長が着任後に9月7日に武田陽子委員を教育長職務代理者に選任。

問 9月6日付で町三役が不在になったことについて執行部の思いは。

答 総務課長 前副町長、前教育長の意志なので何ともしがたいと理解している。
問 先生方の人事異動時期

にも入るので、早急に教育長の選任をお願いしたい。
答 町長 早急に新しい教育長を立てたい。



石川 寿和議員

ふるさと納税の現状について

昨年同時期より251件、約240万円の増(町長)

問 ふるさと納税の現状を伺う。

答 町長 平成28年度は、寄附件数1705件、金額にして2960万8千円。平成29年9月8日までの実績で寄附件数593件、金額にして931万7千円で昨年同時期より、251件、約240万円の増である。

問 返礼品の割合について。

答 企画財政課長 3割以内にするよう事業者に対する説明会を実施し、理解を得ながら対応していく。

田中町長の選挙スローガンについて

問 少年には夢を、青年には希望を、壮年には活力を、老年には生きがいをとという詳しい内容は。

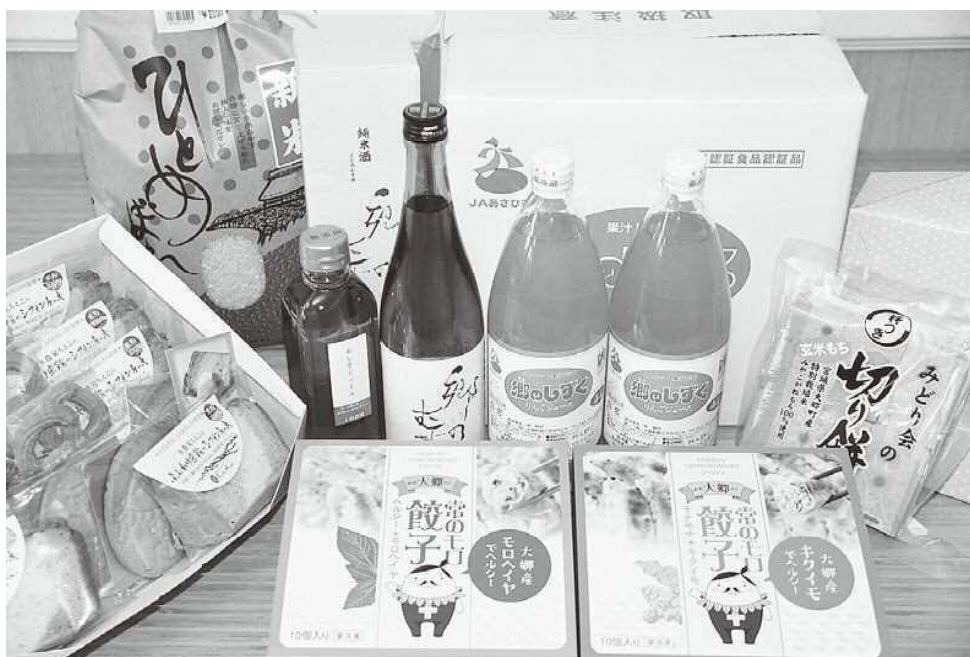
答 町長 少年の夢を応援できる町、青年の希望を叶える環境づくり、壮年の皆さんの経済、精神面で活力を得られる町、老年にはこの町で暮らしてよかったと思える町にしたい。

問 青年の大郷離れをどう考えていくか伺う。

答 町長 核となる場所、例えばコーヒーを飲みながららくつろげるような場所が必要と思う。

問 健康寿命対策について。

答 町長 健康で長生きできることは幸せなことだと思う。好きなことができるまちにしていきたいと思う。



▲特産品を全国へ発信!!



▲信頼される住民バスに



大友 三男議員

町長の公務に対する認識について

町民第一主義で公務を執行していく(町長)

問 前町長は、消防演習を途中退席するなど、公務を軽視していると思われるが、田中町長はどのように公務を行っているのか。

答 町長 前執行者の判断で行われたことで、町長の私的な公務はなく、皆さんから理解の得られる公務執行を行っている。

問 国、県、黒川行政事務組合、町と公務が重なった場合、公私混同せず、ある程度優先順位を考えてはどうか。

答 町長 町の行事も考慮しながら最善を尽くす。

今後の公共事業入札について

問 一般競争入札の設計金額がこれまでの2千万円以上から5千万円以上に変更になっているが、なぜ議会に報告がなかったのか。

答 企画財政課長 条件付き一般競争入札の金額は、要綱で決まっているので、

議決の必要がないため。

問 平成23年度から6年間の平均落札率が95%以上と県内でもかなり高く、一社だけの入札で落札率99・93%の事業があるなど、不透明な入札が多く、どのように透明性を図っていくのか。

答 町長 透明性、競争性はもとより、公正公平な入札執行に向け、他の自治体の事例も参考にして取り組んでいく。

平成30年度からの住民バス指定管理選考について

問 法違反、協定書違反、仕様書違反を繰り返し、いくら指導しても改善されない民間バス会社を次の入札に参加させるべきではないと考えるが。

答 町長 様々な選択肢の中で十分検討し、最適と思われる方法により行っていく。

平成29年第3回定例会 議案採決結果一覧表

議案番号	議案名 (略称)	議決月日	採決結果	賛成	反対	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	熱海文義	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦	
議案第36号	個人情報保護条例の一部改正について	9/8	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第37号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	9/8	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第38号	平成29年度一般会計補正予算(第3号)	9/8	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第39号	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	9/8	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第40号	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	9/8	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第41号	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	9/8	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第42号	平成29年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	9/8	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第43号	平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	9/8	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第44号	平成29年度戸別合併処理浄化槽特別会計補正予算(第1号)	9/8	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第45号	平成29年度宅地分譲事業特別会計補正予算(第1号)	9/8	可	12	1	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—
議案第46号	平成29年度水道事業会計補正予算(第1号)	9/8	可	13	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第47号	工事請負契約の締結について	9/22	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第48号	工事請負契約の締結について	9/22	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第1号	平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定について	9/20	認定	10	3	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
認定第2号	平成28年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9/20	認定	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第3号	平成28年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9/20	認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第4号	平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9/20	認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第5号	平成28年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9/20	認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第6号	平成28年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9/20	認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第7号	平成28年度戸別合併処理浄化槽特別会計歳入歳出決算の認定について	9/20	認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第8号	平成28年度宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9/20	認定	11	2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第9号	平成28年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	9/20	認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告第6号	健全化判断比率について	9/11	報告のみ																	
報告第7号	資金不足比率について	9/11																		

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席 ※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

意見書

請願

最低賃金の改善と中小企業支援の
拡充を求める政府に対する意見書
採択を求める請願

【請願者】

宮城県春闘共闘会議
代表幹事 高橋 正行

総務産業常任委員会に付託した結果、「採択すべきもの」との審査結果報告があった。これに基づき本会議で採決した結果、採択となった。



国に意見書を
提出しました

右記の請願が本町議会に提出されたことを受けた意見書が総務産業常任委員会より提案され可決しました。

【意見書趣旨】

労働者の生活向上と中小企業の経営を発展させるため、政府へ最低賃金額の改善と中小企業に対する支援策を求めるもの。

【提出先】

内閣総理大臣
厚生労働大臣
経済産業大臣

宮城県国民健康保険
運営方針案に係る意見書採択についての
請願

【請願者】

塩釜地域社会保障推進協議会
代表幹事
内藤 孝 外4名

教育民生常任委員会に付託した結果、「不採択すべきもの」との審査結果報告があった。これに基づき本会議で採決した結果、不採択となった。



議会の主な動き (7/1~9/30)

月 日	用 務	月 日	用 務
7/1	建町記念式典	8/23~24	宮城黒川地方町村議会議長会正副議長・事務局長研修会(福島県)
7/4	広報広聴常任委員会	8/29	宮城県町村議会議員研修会(大河原)・議員全員協議会
7/8	仙塩広域行政研究会公開講演会	8/31	議員全員協議会・議会運営委員会
7/11~13	総務産業常任委員会視察(長崎県東彼杵町・熊本県嘉島町)	9/2	大郷中学校運動会
7/12~14	教育民生常任委員会視察(北海道上砂川町・幌加内町)	9/5	議員全員協議会
7/18	広報広聴常任委員会	9/7	議会運営委員会
7/25	教育民生常任委員会	9/7~22	第3回(9月)定例会
7/25~26	宮城県議会議員講座	9/8	おおさと地域振興公社に関する特別委員会
7/26	総務産業常任委員会	9/11	広報広聴常任委員会
7/28	議員全員協議会・議会改革調査特別委員会	9/18	大郷町敬老会
7/28	第2回臨時議会	9/23	大郷保育園運動会
8/2	企業立地セミナー	9/28	黒川地方市町村議会議員研修会実行委員会
8/5	おおさと夏まつり	9/28	全国町村議会議長会議会広報研修会

総務 産業

一流の田舎を目指して 水害対策で町を豊かに 長崎県東彼杵町 熊本県嘉島町（7月11日） （7月13日）

ひがしそのぎ



▲長崎県東彼杵町議場にて

長崎県東彼杵町

県のほぼ中央に位置し、県内で2番目に人口が少ない町である。人口8,131人、世帯数は3,119世帯、面積74.29km²、基幹産業は農業、特産品はお茶で約400haで生産している。約6割を山林が占めている。地方創生事業に取り組み移住・定住のモデル的な町になっている。

地域と町が一丸に

- ① 小さな拠点整備（JR千綿駅、旧米倉庫カフェ）
- ② グリーンツーリズムの推進（インバウンドツアー）
- ③ 炭焼き職人プロジェクト（地域おこし協力隊）
- ④ 道の駅の活性化（彼杵の荘）
- ⑤ 日本一の彼杵茶を活用
- ⑥ 定住・移住支援（地域賑わい・活性化・集落維持）
- ⑦ 空き家バンク事業の創設（リフォームした古民家）

（お試し移住）

熊本県嘉島町

熊本市に隣接し、人口9,124人、面積約16.65km²である。美しい田園風景を残す自然豊かな町。湧き水群が至る所にあり、平成の名水百選にも選ばれる「水の郷」である。一方、水害常襲地帯で長年、水害に悩まされ続けたが堤防ができて、土地区画整理事業、道路整備、企業立地に取り組み。

好立地を生かした企業誘致

国道266号、445号が町の中央を縦断しており、九州縦貫道御船ICまで車で5分、JR熊本駅、阿蘇くまもと空港や熊本港へは車で30分。平成26年3月には九州中央自動車道「嘉島JCTー小池高山IC」も開通し恵まれており、数多くの企業が進出。農業、商

工業、自然環境のバランスの取れた町になりつつある。政令指定都市熊本市に隣接し、恵まれた交通条件や豊富な水資源などの優れた立地条件のもと企業立地に取組み組んでいる。

【意見】

東彼杵町は、きめ細やかな定住化構想計画が企画されており、町長自ら指導性を発揮している。本町においては工事が進行しているのに、取り組み方が遅い、計画性とスピードのある取り組みが必要である。

嘉島町は町民や町内各種団体の『声・夢』をもとに基本構想を諦めることなく歩んできた。町は工業団地の造成はせず地権者との仲買のみで、企業と地権者が不動産会社を通している。本町もハード事業は民間活力で行うべきであり、執行者の情熱が事業の成功につながる。

教育 民生

健康に対する意識を高める 集団指導から個別指導へ 北海道上砂川町（7月12日） 北海道幌加内町（7月13日）



▲介護施設にて説明を受ける（幌加内町）

町民の協力・支え合い

北海道上砂川町役場において、大内議長の歓迎の挨拶を受け、福祉課長と企画課長より詳細に説明を受けた。上砂川町はかつて炭鉱で栄えた町であり、昭和27年には32,103人の人口がいたが、今では3,198人と激減しており、なおかつ高齢化率も49・19%となっており、「健康の里づくり」推進プロジェクト事業を積極的に推進してきた。さらに町民の協力・支え合いの醸成のため、ボランティアポイント制も導入していた。

細やかな保健指導

北海道幌加内町役場において、副町長・副議長の歓迎の挨拶を受け、保健福祉

課長より「住民の健康づくりへの取り組み」について詳細に説明を受けた。幌加内町では肥満が多く、糖尿病の割合が全道平均の2倍と高いため、重症化予防を重点に取り組んでいる。また面積は約767km²であり、人口が1,572人のため、きめ細やかな保健指導を目指し、集団指導から個別指導へと切り替え生活習慣病等の予防に力を入れている。

【意見】

両町を視察して、自分の健康は、自分で考え、自分で守り、自分で努力することが大切であり、それに向けた指導が不可欠である。

両町とも本町より、人口がかなり少ない割に、保健師を4名も配置し、集団指導から個別指導へと切り替え生活習慣病等の予防に力を

入れている。本町もできる限りの人員体制を整えて保健指導をすべきである。

こんな研修会ありました

7/
25・26

宮城県町村議会議員講座



7/25

「地域で健康なまちづくり」

講師 仙台白百合女子大学
健康栄養学科准教授
鈴木 寿則 氏

「地域に希望あり
～まち・ひと・仕事を創る」

講師 コモンズ代表・ジャーナリスト
大江 正章 氏

7/26

「地域再生や活性化に向けて」

講師 東北福祉大学
総合福祉学部教授
金 政信 氏

「日本の田舎は宝の山」

講師 NPO法人えがおつなげて
代表理事 曾根原 久司 氏

8/29

宮城県町村議会議員研修会

「震災復興の現状と課題」

講師 東北福祉大学客員教授・
前岩沼市長
井口 経明 氏

「政治のゆくえと地方の視点」

講師 早稲田大学公共経営
大学院教授・元総務大臣
片山 善博 氏



次回定例議会

みなさんの傍聴を
お待ちしております

12月5日(火)から

12月8日(金)まで

予定

議会の
生の声を

新しい

議会構成

です

第3回定例会において、議会の
常任委員や議会運営委員が選任されました。

総務産業常任委員会

総務課、企画財政課、まちづくり推進課、税務課、農政商工課、地域整備課、会計課、農業委員会、選挙管理委員会、監査委員の所管に関する事項の調査等を行います。

委員長 佐藤千加雄
副委員長 赤間 茂幸
委員 大友 三男
石川 寿和
高橋 重信
高橋 寿一
石川 秀雄

教育民生常任委員会

町民課、保健福祉課、教育委員会の所管に関する事項の調査等を行います。

委員長 和賀 直義
副委員長 若生 寛
委員 熱海 文義
赤間 滋
千葉 勇治
吉田 茂美

広報広聴常任委員会

議会広報の発行に関する調査、記録、取材及び編集等を行います。また、議会の広聴に関する調査等を行います。

委員長 吉田 茂美
副委員長 赤間 茂幸
委員 大友 三男
佐藤千加雄
和賀 直義
若生 寛

議会運営委員会

議会の運営を円滑に行うため、議会の運営方法を協議したり、議長から諮問された事項等について調査や審査を行います。

委員長 千葉 勇治
副委員長 高橋 寿一
委員 佐藤千加雄
和賀 直義
石川 秀雄
吉田 茂美



▲当選証書付与式



熱海文義議員

8月27日執行の議会議員の補欠選挙の結果、熱海文義議員（2回目）が当選しました。

追跡レポート

ごみ減量化のために具体的な施策は
(平成26年3月議会、予算審査意見より)

町民課長

広報誌への掲載等により啓発活動をしていく。生ごみの水切りの徹底によりごみ減量化につながることから、町では生ごみ処理機の購入補助を実施している。また町内一斉清掃や環境クリーン巡視員の設置により、不法投棄ごみの減量を図っている。

(平成27年11月180号 追跡レポートより)

その後の対応と今後の計画

町ではごみ減量化への取組みとして、3R運動（リユース・リデュース・リサイクル）を推進しており、皆様に引き続き、広報紙への掲載等により啓発活動をしていく。具体的な施策として、各行政区の環境衛生組合長とのごみの出し方について意見交換を行い、ごみ分別を徹底することにより、ごみの減量化を図っている。また不法投棄防止看板の設置や町内一斉清掃（ごみゼロクリーン作戦）の実施、環境クリーン巡視員の設置など、不法投棄をさせない環境にすることにより不法投棄ゴミの減量化を図っている。

町民課長



▲守ってますか？ごみの分別



▲より集客できる施設を

物産館、開発センター、縁の郷の改革は

農政商工課長

改革の一つとしてテナントを募集したところ合計2社の応募があったが、採択には至らなかった。

今後については、地域振興公社の新社長とプロジェクトチームとで連携を図り、民活導入等、抜本的な改革の手法等について引き続き検討していくとともに、社員教育の徹底を行い、接客サービスの向上等、経営の健全化及び自立を目指していく。

(平成29年5月186号 追跡レポートより)

その後の対応と今後の計画

民間活力導入により改革を推進すること。また、公社の職員が一丸となり業務改善を図ること。この姿勢については変わりありません。町として、引き続き助言指導して参ります。

本年度の公社計画

物産館レストランのメニューの開発、館内購入の飲食物の喫食スペースの確保など。

売店の催事とPOP、商品棚の配置転換、販売商品の検討、ピロティの有効活用。

物産館レストランと開発センターは引き続きテナント募集等、抜本改革を再考する。

縁の郷は、きめ細かな営業活動の実施、メニューの改訂をしていく。

農政商工課長

住民の 声



佐藤 瑠那さん
(丸山)

大郷町を より良くするために

私は大郷町が少しでも発展し住んでいる人たちが暮らしやすい町になってほしいと思います。今大郷町を見て感じることは、買い物をする店が少ないため、隣町まで行って買い物するしかなく、町内にも、もっといろんな買い物ができるようにお店を増やしてほしいと思っています。

その他には、私たち高校生や高齢者の方の交通手段は住民バスしかなく、以前から思っていたが、平日の運行だけでなく、土曜、日曜、祝日も運行してほしいと思っていました。土曜、日曜、祝日は私たち高校生にとって部活や学校行事などが多く、高校に行くのが大変だからです。せめて一週おきにも土曜、日曜の住民バス運行を行ってほしいと思います。

最近学校の授業で定住人口、交流人口というのを習いました。大郷町に住んでいる人や訪れる人が、安心して暮らしていける、豊かな町になってくれることを願っています。

正確で解りやすくをモットーに より良い紙面づくりを目指します!



議会広報広聴常任委員会

編集 後記

田植えから7月末までの好天に恵まれ、豊作を期待していたが、出穂期から収穫期までの晴れ間の少ない天候の中で、どんな状況になるのか不安の中での刈り取り作業も初日を迎えましたが、平年作には届かないまでも「よくぞここまで」と植物のもつ生命力とたくましさ改めて感心させられました。

今回から改選により編集委員が新メンバーになりました。読者の皆さんに読んでいただけるよう、読みやすい紙面づくりに取り組んでいきたいと思っています。

吉田 茂美

編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 吉田 茂美 |
| 副委員長 | 赤間 茂幸 |
| 委員 | 大友 三男 |
| | 佐藤千加雄 |
| | 若生 寛 |
| | 和賀 直義 |



環境に配慮し再生紙を使用しています。